

とぜわ

Public Relations of TOZAWA

広報

No.552 2017年（平成29年）11月号

巻頭
記事

全国準優勝 初の快挙
第23回全国女性消防操法大会 準優勝

全国大会の地にて

11

Nov





全国準優勝初の快挙



戸沢村女性消防隊
第23回全国女性消防操法大会

準優勝

みんなで掴んだ栄冠

秋田県秋田市で行われた「第23回全国女性消防操法大会」において、戸沢村女性消防隊は、準優勝を果たした。

全国47都道府県の代表らが、消防操法を披露し、操作の正確性やタイムなどを競い合う中、7番目に登場した戸沢村女性消防隊は、素早く、正確な動作で会場を沸かせた。約1分間の操法を終えた隊員の表情は、達成感で満ちていた。操法の動作はスムーズで、タイムも上々。あとは、審査結果を待つだけだった。

そして、結果発表の瞬間。

前回の優勝得点を上回る得点を告げるアナウンスが流れると、隊員の喜びが爆発した。これまでの訓練の成果が報われた瞬間だった。指揮者の高橋裕美さん（神田）は「あまり気負わず行うことができた。これまでの訓練を信じてやった結果です」と喜びの笑みを浮かべた。

終盤にきて、他チームに優勝を阻まれはしたが、戸沢村女性消防隊全員で掴んだ準優勝。栄冠を手にした、彼女たちの笑顔は、青春を謳歌する少女のようにいつまでも輝いていた。



▲操法に取り掛かる隊員



▲操法を終え、安堵の表情

支えがあったから、がんばることができた

「感謝の気持ちを忘れず」

準優勝を果たすまでの約二年間、支えてくれた家族、職場、そして、我慢強く指導していただいた西支署員、消防団幹部、村内外から駆けつけ温かい声援を送っていただいた皆様に対し、心から感謝申し上げます。

消防のイロハもわからず訓練に臨み、本格的に操法の訓練に入った今年は、できない自

分に涙を流す場面もありましたが、周りの応援とチームワークが後押しし、息ひったりの操法につながりました。自分達だけでは叶わない結果です。

私たち女性消防隊は、この「感謝」の気持ちを忘れずにこれからも頑張りたいと思います。

女性消防隊隊長
阿部 幸美





約2年間の訓練スタート

平成28年1月21日午後7時。
肌を刺すような寒さと夜の静けさの中、戸沢村女性消防隊の操法訓練が始まった。操法経験の一切なかった隊員らは、消防操法を学ぶため、西支署職員を招いての勉強会からスタート。ここから約2年間に渡る訓練がスタートした。

基本となる操法の所作

「気をつけ！整列休め！右へならえ！」。
訓練を行う室内に隊員の声が響く。基本となる所作の訓練が始まった。
簡単なことに見えるかもしれないが、気をつける姿勢、足の開き方など基本の所作をピタッと揃えることは難しい。何百回、何千回と繰り返し、動きを体に叩き込んだ。隊員らは、気の遠くなるような基礎訓練を経て、日々基本の所作を磨いたのだった。

質の高い操法へ

いよいよホースを使った訓練も始まり、日々の訓練にも熱が入る。隊員一人に何人もの指導者がつき、動作を確認する。その甲斐もあり、徐々に形になってきた。隊員らは、さらに質の高い消防操法とすべく、全国女性操法大会に出場経験のある、最上町と大石田町の女性消防隊を訪ねた。

「吸管やホースの持ち方を変えたほうがよい」
「ホースの構え方を変えた方がよい」

合同訓練の中で、先輩消防隊員から多くのアドバイスをもらった。「質の高い操法」を目指し、隊員の訓練は益々熱を帯びていく。

大きな壁

大会1ヶ月前、厳しい残暑の中でも訓練を続ける隊員たち。
順調と思われた訓練だったが、ここで大きな壁にぶつかる。

「タイムを伸ばそうとするあまり、動作に精細さがなくなったのだ」

動作の正確性と速さが求められる操法において、致命的な問題だった。隊員らは何度もホースを伸ばし、細かい動きを確認した。

「動作の正確さと速さを両立するにはどうすればよいのだろう」なかなかうまくできない自分に悔しくて涙を流す日々が続く。

目指すゴールは一つ

練習時間が足りないと感じた隊員らは、自ら支署前に集合し、訓練を続ける。膝や足首を痛め、これまでの厳しい訓練に耐えてきた隊員の体は限界に近づいていた。それでも隊員らは、お互いに励ましあい、己を奮い立たせる。

「全国大会入賞」

全員が同じ目標を見つめ、大会に向けて気持ちを一つにした。

そして、後に、戸沢村女性消防隊は、全国大会の地で旋風を巻き起こすのだった。



今までの訓練が脳裏を走り、嬉しさと達成感で胸が熱くなりました。スローガン「最高の輝きと最大の感動」を感じた瞬間でした。チーム戸沢に感謝！

たくさんの訓練を重ねた結果が、今回の準優勝という結果となりご指導いただいた方々への感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

みんなの思いが一つになった大会での操法。一生忘れません。関わって頂いた全ての皆さん、本当にありがとうございました。

楽しんでやれたことの結果。みんなで勝ち取った勝利です。支えてきてくれた皆さんに感謝しています。

いろいろな方にサポート頂き、大会では最高の操法ができました。楽しい時間でした。ありがとうございました。

人と人、心と心がつなぐ夢、汗と涙と、感謝の栄冠！戸沢村最高、ここに生まれてみんなに出会えて幸せです！



補 助員

安食仁美 (岩花)



4 番員

阿部 香 (沢内)



3 番員

安食江里 (古口)



2 番員

星川麻奈美 (松坂)



1 番員

荒川理佳 (名高)



指 揮者

高橋裕美 (神田)



全国大会準優勝を記念して

戸沢村女性消防隊に入りませんか？

戸沢村では、女性消防隊員を募集しています。現在、女性消防隊員数は21名です。地域内の各家庭を回っての防火啓発活動や幼児・児童向けの防災教育など消防団の様々な行事・活動に参加していただきます。

- 入団資格 ●戸沢村に住んでいるまたは勤務していること
●満18歳以上であること
●消防・防災活動への熱意のある方

問合せ先 戸沢村役場危機対策課防災保護係 ☎72-2152

Interview



戸沢村消防団長
伊藤 一

この度は、皆様の応援のおかげをもちまして戸沢村女性消防隊が全国女性消防操法大会において、準優勝という成績を収めることができました。心よ

り感謝申し上げます。
この成績は、隊員の訓練とご家族・職場の協力、消防署西支署職員の指導があったからこそ残せたものであり、そのどれが欠けても成しえなかったものと思っております。

今後も戸沢村消防団は村内の消防防災活動について邁進していく所存でありますので、みなさまからも今後とも変わらぬご協力をいただけますようお願い申し上げます。

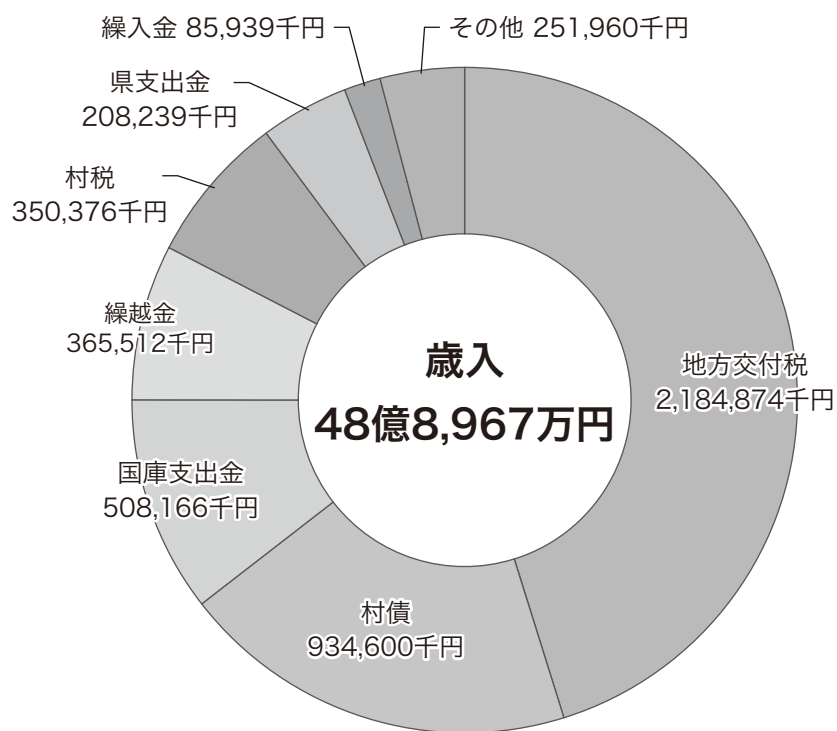
平成28年度の戸沢村決算額を報告します

一般会計

平成28年度の歳入歳出決算が、村議会9月定例会において承認されました。村民の皆さんに取めていただいた税金や地方交付税など村に入ってきたお金（歳入）とそれがどのように使用されたか（歳出）についてお知らせします。

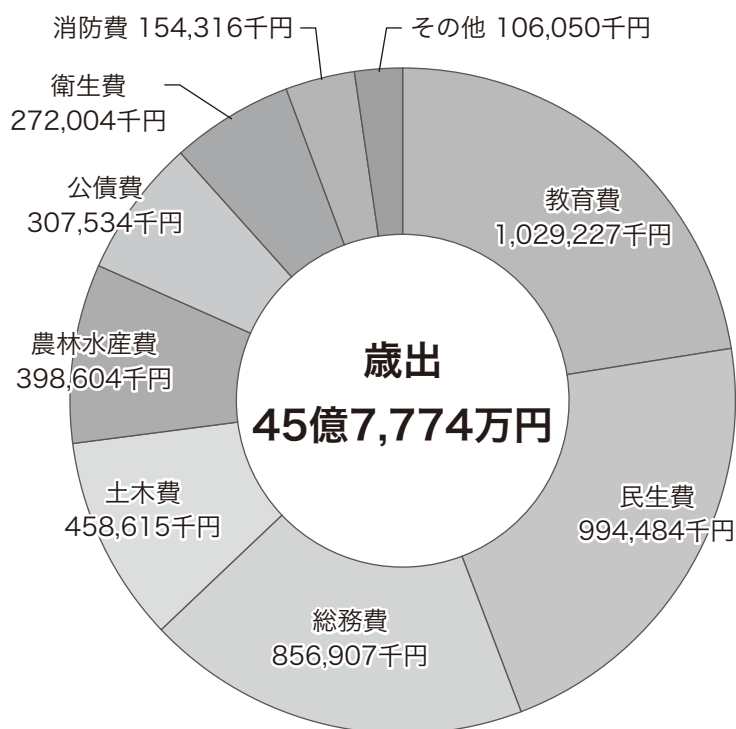
村の歳入は、対前年度比4億6,018万円増額の48億8,967万円となり、967万円となりました。

村税は、対前年度比1,277万円の増となり、また、村の主要財源である地方交付税は、対前年度比737万円の減で21億8,487万円となりました。村債の発行は、統合保育所・新戸沢小学校建設事業により、対前年度比4億710万円の増となっております。



村の歳出は、対前年度比5億1,376万円増額の45億7,774万円となり、774万円となりました。

歳出の中で、最も多くの割合を占める教育費は、新戸沢小学校の建設事業等により、前年度比4億878万円増の10億2,922万円となりました。また、公債費は、2,037万円の増の3億7,533万円となっております。



特別会計

特別会計は、下水道や国民健康保険など、特定の収入をもって特定の支出に充てるためのもので、一般会計と区別する必要がある会計のことをいいます。

特別会計決算

【歳入】 1,315,409 千円 【歳出】 1,262,309 千円

(単位：千円)

区 分	へき地診療所	国民健康保険	後期高齢者医療	簡易水道事業	公共下水道事業	農業集落排水事業	介護保険
歳 入	87,869	34,162	45,856	238,630	96,462	136,726	675,704
歳 出	76,323	33,345	44,795	229,946	93,057	130,842	654,001

財政分析指標の推移

区分	平成28年度	平成27年度	平成26年度
実 質 収 支 率	12.4%	12.5%	8.8%
経 常 収 支 率	81.1%	80.0%	81.0%
財政力指数	0.16	0.15	0.14
実質公債費比率	6.4%	6.8%	4.7%

用語紹介

- 実質収支比率
財政状況を標準財政規模との比較で表したもの
- 経常収支比率
財政の硬直性、弾力性を示したもの
- 財政力指数
財政上の能力を示す指数
- 実質公債費比率
標準的な財政規模に占める借金返済額の割合を表した財政の健全度を示す指標

平成28年度の主な事業

平成28年度に行われた戸沢村の事業に関して、どのようなものがあり、どれくらいのお金が使われたのかを紹介します。

○いきいき百年の里・やまなみロード線運行委託事業 (ワンコイン村営路線バス。利用者数9,836名)	14,516,805円
○寝たきり老人介護者激励金支給事業 (31名の介護者への介護に係る経済的支援)	1,240,000円
○放課後児童クラブ運営事業 (44名が登録し利用)	5,093,153円
○保育所建設事業 (統合保育所建設)	233,468,224円
○戦略的園芸産地拡大支援事業 (ミニトマト・りんどう栽培への補助)	1,668,000円
○プレミアム付き商品券発行事業 (期間限定の20%付き商品券を総額2,400万円分販売)	4,491,000円
○戸沢小学校改築工事 (戸沢小学校改築工事を実施・完了)	658,380,788円
○観光振興委託事業 (滞在型観光の推進と誘客拡大を図るための取組を実施)	1,650,000円
○環境整備事業 (若者センター駐車場の舗装修理工事等を実施)	2,430,000円

交通安全協会が街頭指導



今月の一枚



9月21日（木）～30日（土）までの10日間、秋の交通安全県民運動が開催されました。

期間中の22日（金）に、古口・津谷駐在所の警察官や村交通安全対策推進協議会の委員らが街頭指導を行い、行き交うクルマや歩行者に交通安全を呼び掛けました。

夕暮れが早まってきましたので、歩行者の皆さんは反射材の着用を心掛けていただきたいと思います。

連合若妻会視察研修 ～戸沢村を知ろう！～

9月23日（土）、村内各所にて、若妻会会員による視察研修会が行われました。当日は12名の親子が参加し、戸沢村を巡りました。最上川舟下りから始まり、源氏楯・幻想の森の散策と戸沢村の自然を満喫し、様々な体験をしました。

参加者からは「戸沢村に長年住んでいたけれど、行ったことがない所がたくさんある」、「戸沢村の新たな魅力を発見することができた」といった声があがっていました。



連合婦人会視察研修 ～舟形町視察研修会～

9月30日（土）、舟形町において、婦人会会員による視察研修会が行われ、戸沢村婦人会から13名が参加しました。

当日は、猿羽根山地蔵堂の参拝から始まり、縄文の女神のレプリカが保存されている歴史民俗資料館の見学、花アート体験などを行いました。

参加者からは「今年度も参加してよかった。来年はどんなことをするのか楽しみだ」と来年の研修会の開催を期待する声があがっていました。



新教育委員に加藤久和氏

10月2日（月）、戸沢村役場にて、「戸沢村教育委員」の辞令交付式が行われ、加藤久和さん（野口）に、戸沢村教育委員会より辞令が交付されました。残任期間は、平成30年9月30日までとなります。戸沢村の教育行政のより一層の発展のため、ご尽力くださることをご期待します。

戸沢村教育委員会

教育委員長 齋藤 光矢

教育長 小野 和夫

教育委員 荒川香菜子・山田 慎一・加藤 久和





古口保育所運動会

10月4日（土）、中央公民館にて、古口保育所大運動会が開催されました。

当日は、約20名の園児が参加し、かけっこやダンスなど様々な競技に挑戦しました。親子で一緒にゴールを目指す親子競技では、パパやママに甘えながらも、一生懸命ゴール目指して競技していました。

来年度は、保育所の統合が決まっており、古口保育所の運動会は最後となりました。

運動能力をはかる「新体力テスト」

10月7日（土）、旧戸沢小学校にて、「新体力テスト」が行われました。このテストは、20歳から79歳までそれぞれの年代で行われ、今回は65歳～79歳までの方を対象とし、村内の老人クラブから協力いただき、49人が参加しました。

調査項目は、「握力」、「上体起こし」、「長座体前屈」、「開眼片足立ち」、「10m障害物歩行」、「6分間歩行」の6項目。調査に先立って、日常生活活動、健康状態の聞き取りも行いました。その新体力テストの結果については、来月の広報に掲載します。



村民フォーラム開催！

10月14日（土）、中央公民館にて、戸沢村共育の日を記念した第18回青少年健全育成村民フォーラムが開催され、小学5・6年生をはじめ保護者や地域の方など、約200名が参加しました。

いじめ防止標語の表彰や合唱、おはなしサークル「くれよん」さんによる大型紙芝居など多くの企画が行われました。

また、体験型ワークショップとして、「ピザ」づくりや「幻想の森ツアー」など様々な活動も行われ、参加者は有意義な時間を過ごしていました。

昔ながらの稲刈り体験

10月17日（火）、戸沢小学校5年生36名が、稲刈り体験を行いました。

当日は、田んぼの所有者である安食哲弥さん（岩花）や多くの農家の方に「鎌の使い方」や「稲の結び方」などを指導してもらいました。児童らは、春に田植えをした稲を収穫するとあって、立派に実った稲に興奮気味の様子でしたが、一つひとつ丁寧に稲を収穫しました。

11月には、この度収穫したお米を使った収穫祭が予定されています。



ふれスポーツ通信

さわやかスポーツ教室開催！

10月23日（月）、小学生を対象にさわやかスポーツ教室『マラソン教室』が開催されました。（参加者25名）講師は、山形県縦断駅伝選手『後藤祐一』さん。「冬場のマラソンの練習は基礎的な体作りが必要です。ほかの地区の選手よりも速く走れるようになるためには、雪で外で走れない分、中でコッコッ体を動かすことが重要」とマラソンに適したトレーニング方法や腕立てのメゾットなど指導していただきました。



戸沢柔友会が躍動！

10月14日（土）、第59回名取市長杯柔道大会が名取市で開催され、戸沢村からは、戸沢柔友会が出場しました。多くの選手が入賞を果たし、戸沢小学校2年の安食慈月さんは「普段練習している背負投げがうまくかかった。もっともつと強くなりたい」と語っていました。大会結果は、左記のとおりです。

低学年女子の部	優勝	安食慈月さん
	準優勝	長澤乃々華さん
中学年の部	優勝	森 零さん
	準優勝	中鉢逢瑠さん
高学年の部	第3位	三浦哲也さん
中学生男子軽量級	優勝	岸 健太さん
	第3位	八俣 光さん
重量級	優勝	長澤龍志さん
	第3位	中鉢 伶さん
女子の部	優勝	大山 茜さん



十一月は 戸沢村読書月間です

現在、中央公民館ロビーにて、保・小・中学校、健康福祉課、おはなしサークルくれよん、中央公民館図書室が連携企画した、読書活動の紹介を展示しています。

また、図書室では「ぶっくふえすていばる」の開催、「山形県立図書館大賞」の受賞作品の展示を行います。



図書室イベント

「ぶっくふえすていばる」開催

テーマ「本の祭典だけど、本だけじゃない！」

開催日 十一月二十三日（木）

勤労感謝の日

時間 九時三〇分

場所 戸沢村中央公民館

今年は、おはなし会、家庭教育講演会「読育」（大人対象）と、「おにぎらず」を作ろう！「食育」（子ども対象）を同時開催！講師の先生を迎えて、子どもも大人も楽しく過ごしてもらえようように企画しています。講演会講師には、山形県家庭教育アドバイザーにして、桃太郎研究家の本間俊美先生をお



本のススメ vol.54



迎えしております。ぜひぜひ皆様足をお運びください！

『山形県図書館大賞二〇一七』受賞作品紹介

『心躍る！冒険・旅に出たくなる本』読むとワクワクする本！

受賞作品は、全部で三十作品！展示期間は一月十二日まで。三か月かけて十冊ずつ紹介していきます。

書名	著者名
1 県庁おもてなし課	有川 浩
2 下駄の上の卵	井上ひさし
3 精霊の守り人	上橋菜穂子
4 十二国記	小野不由美
5 夜のピクニック	恩田 陸
6 魔女の宅急便	角野栄子
7 深夜特急	沢木耕太郎
8 死ぬまでに行きたい世界の絶景	詩歩
9 バムとケロのそらのたび	島田 ゆか
10 旅屋おかえり	原田 マハ

くれよんの日

次回は十一月六日（月）

午後七時から八時半まで図書室が開いています。

共育

最前線

Vol.3

戸沢小中学校では、地域をフィールドに地域の方を先生にふるさと学習を展開しています。この学習は十年以上の歴史があります。各地区にある共育活動団体の皆さんをはじめ、地域の方々が子どもたちに直接教えてくれます。第三回は、一年生の学習の様子です。

単元名：「むらたんけん」

小学校は各学年で校外学習に出かけます。行き先は新庄市、庄内方面、山形方面などです。一年生は自分たちの住んでいる戸沢村のことを知るために、村探検に出かけました。「角川の大杉」「芳賀さんの牧場」「高麗館」「荒木さんのトマトハウス」を見学しました。

「大杉の年齢や幹まわりの長さ」「牛の世話の楽しさや難しさ」「高麗館ができたきっかけや建物の説明」「おいしいトマトを作る工夫」など、そのものや仕事に携わっている方々から話を聞いたり、自分から質問して確かめたりする活動をしました。

「大杉が千二百歳なんて驚いた」「牛には胃が四つもあると初めて知った」「高麗館には韓国のものが売られていました」「おいしいトマトを作るためのミツバチの力がすごい」など、一人一人自

分が感じた驚きと感動をまとめました。実際の場所に出かけて、本物を見て、そこで生活している人の話を聞くことで、子ども達は、実感を伴った「自分たちの戸沢」を学んでいきます。中学三年生になると、戸沢の子ども達は「村への提言」に取り組みます。小学校一年生の村探検は、その一歩目になっています。



長倉の大杉



荒木さんのトマトハウス

GASSAN GEOPARK

月山ジオパーク構想

月山がもたらす雪の世界

標高1,984m、国内で見ても月山はそれほど高い山ではないが、積雪量はトップクラス。

冬に大陸から吹き付ける冷たく乾燥した北西の季節風は、日本海を北上する暖流の対馬海流から多量の水蒸気を受け取る。

たつぷり水分を含んだ空気は風に乗り、山の斜面に沿って上昇して雪雲となる。こうして、冬の日本海側に大雪が降る。

雪、すべてを意に「凄まじい雪」

冬季に風下となる東斜面の凹地に雪が吹きだまり、夏まで解けずに残る。雪田の周囲では、雪どけと共に芽吹く高山植物が段階的に花を咲かせる。



豪雪の仕組み

日本海との間に山域がないため、月山には水分を多く含んだままの風が北西から吹きつける。その湿った空気が月山の斜面に沿って上昇し、雪雲となり、豪雪をもたらす。

月山ジオパークとは？

噴火や地すべりなど、月山周辺の地形を成り立ちから知り、気候や生態系、歴史、人々の暮らしとの関わりを考える場所です。「月山のおそれとめぐみ」の中で、自然とともに生きることの本当の意味を伝えることを目指します

※ジオパークとは、ジオ（地球）に関わる地層、地形、火山など、さまざまな自然遺産を含む公園のことです。

※本エリアは、月山を取り囲む鶴岡市の一部（旧朝日村、旧羽黒町、旧櫛引町の部分）及び庄内町、西川町、戸沢村、大蔵村の全域



▶総務課において、ジオパークパンフあります！お声掛けください。

地域おこし協力隊奮闘記

Vol.23

地域おこし協力隊とは、「地方で人口減少や高齢化が進み人材不足が叫ばれる中で、地方での生活を望む都市部の人たちがそこに移り住み、地域の活性化のために、まちおこしの一員となって活動する」。そんな人たちのことを指します。戸沢村でも、3名の「地域おこし協力隊」が村おこしのために活動しています。広報とざわでは、3名の活動の様子を紹介します。



地域の人でもめったに見ることができない貴重な体験です。都会にいては身近に感じることができないお寺でしたが、地域にとって大事な役割を果たしているのだと感じる経験になりました。



■ 今月の鈴木英策隊員

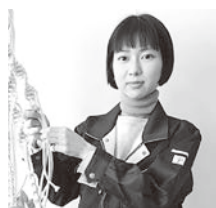
10 月は私の住む角川のお寺広隣院にて慶弔會という大きな法要が営まれました。住職の代が変わる時のみ行われるもので、



稲刈りも大詰めの時期ですが、名高地区でも稲刈りが行われました。私も山形市で稲刈りに参加。2日間かけて手刈りした貴重な稈は、戸沢村に持ち帰り、ある企画をしています。

29日には戸沢学園の文化祭で、日頃お世話になっている小学校パソコンクラブの作品発表が行われます。約半年、みんな頑張って制作してくれました！

稲刈りも大詰めの時期ですが、名高地区でも稲刈りが行われました。私も山形市で稲刈りに参加。2日間かけて手刈りした貴重な稈は、戸沢村に持ち帰り、ある企画をしています。



■ 今月の鶴川幸代隊員

寒 い時期こそ、体を動かしてポカポカダンスをかじった事のあるママたちが中心となり、「戸沢クリエティブダンスチームはいつと〜」が結成されました。子供から大人まで、年代ジャンルを問わず楽しく踊れるよう創作してくれています！また、とざわ芸文祭のポスターを制作させていただきました。



では大したネタにならないと思ったので、今回は塩ビパイプで作ってみました。まともなものができるかちよつと不安でしたが、結構しつかりしたものが出来上がりました。3人で座っても大丈夫そうです。組み合わせ次第で色々なものが作れます。塩ビパイプ、オススメです。



■ 今月の鶴川慶三隊員

ぽ んぽ館の砂風呂のベンチが老朽化してグラついていたので新しく作り変えることになりました。ただ同じものを作ったので

健康福祉課からのお知らせ

平成30年度戸沢村立戸沢保育所募集要項

施設名	戸沢村立戸沢保育所
定員	0歳児（生後8ヶ月から） 定員5名 1歳児から5歳児まで 定員 各30名 1歳児 30名 2歳児 30名 3歳児 15名×2クラス 4歳児 30名 5歳児 30名
入所要件	戸沢村に住所を有し、平成24年4月2日から平成30年4月1日までに生まれた方（予定含む） 0歳児については、生後8ヶ月以降の入所となります。
入所受付時間及び場所	平成29年12月15日（金） 場所 新戸沢保育所 午前9時～午前11時30分まで 午後1時30分～午後4時まで ・保育所に入所を希望される方は、上記日程で申込書を提出ください。その際は、お子さまの同席をお願いします。 ・通常保育時間外保育を希望する場合は、併せて申込書を提出ください。
保育料及び使用料	・戸沢村保育所費用徴収規則に基づき、前年度分の村民税及び前年分の所得税の課税状況に基づき、前年度分の村民税及び前年分の所得税の課税状況により設定されます（副食費等を含む）。 ・なお、同一世帯から2人以上入所される場合、減額制度があります。 ・保育料の納付については、原則口座振替をお願いしております。
保育内容	・通常保育時間：午前8時30分～午後4時 ・通常保育時間外：午前7時30分～午前8時30分、午後4時～6時30分 ・バス送迎：無料。3歳未満児及び時間外保育は保護者による送迎となります。 ・給食の実施 ・保育指導は、年間保育指導計画書に基づき実施します。

◎新保育所入所者向け説明会

平成29年11月21日（水）18時30分から 場所 中央公民館3階大会議室

◎入所申込書及び添付書類

◇入所申込書・・・保育所説明会時に配布。各保育所及び健康福祉課福祉係で配布

◇添付書類

①居宅内外で労働することを常態としているとき

- ・会社、官公庁等に就労している場合・・・・・・・・・・・・・在職及び給与証明書（様式有り）
- ・自営業、内職等の場合・・・・・・・・・・・・・本人の申立書（様式有り）

②妊娠中であるか又は出産後間がない場合・・・・・・・・・・・・・母子手帳の写し

③疾病にかかり、若しくは負傷し、又は精神若しくは身体に障害を有しているとき、

また同居の親族を常時介護している場合・・・・・・・・・・・・・医師の診断書又は療育・身体障害者手帳の写し

④震災、風水害、火災その他の災害の復旧に当たっている場合・・・罹災証明書または本人の申立書

問合せ先 健康福祉課 福祉係 電話 72-2364 内線 147

「国保発祥の地記念碑」への案内碑が新しくなりました

平成29年9月に、角川地区の「国保発祥の地記念碑」への案内碑が新しくなりました。

国保発祥の地記念碑

角川地区において、全国に先駆けて国民健康保険が創設されたことを記念して、昭和33年に建てられた記念碑。



健康福祉課からのお知らせ

インフルエンザ予防接種はお早目に！

10月からインフルエンザの予防接種が始まりました。戸沢村では下記の対象者に助成をしています。

◎生後6か月～13歳未満

助成金額 1回目：2,000円、2回目：1,500円 ※3回目以降は助成なし

◎13歳～15歳、65歳以上

助成金額 1回目：2,000円 ※2回目以降は助成なし

流行する前にお早目に接種していただくことをおすすめします。

問合せ先 健康福祉課健康推進係 ☎72-2364（内線146）

✿3B体操教室のお知らせ✿

♡子育てをするママ同士の交流の場と、産後のからだ作りをかねて、3B体操を開催します。ママはもちろん、ご家族の方もぜひご参加ください♡

日 時 平成29年11月8日（水） 10時30分～11時30分（受付10時～）

場 所 戸沢村保健センター2階

講 師 高橋 真由美 氏（3B体操インストラクター）

参加費 500円（1家族）

内 容 3B体操（ママ向けのストレッチや簡単な体操など）

対 象 子育て中の家族（どなたでも構いません）

持ち物 バスタオル1枚、飲み物、運動のできる服装

※当日は会場に保健師もいますので、育児の相談や赤ちゃんの身体測定もできます。

担当 健康福祉課健康推進係 ☎72-2364（内線145）



共育課からのお知らせ

廃校施設備品公売会のご案内

廃校となった学校の備品等について、資産の有効活用や処分コスト縮減を図るため、地域住民の皆様向けに公売を開催いたします。

公売内容 旧戸沢小学校の備品（厨房用品、食器、家具等）

公売日時 平成29年11月18日（土） 9時～12時

公売会場 旧戸沢小学校ランチルーム

公売形式 入札形式

参加方法 希望する物品について入札し、最も高い金額で入札した方が落札者となります

入札結果 開札後、物品毎に落札者へ通知します

落札価格及び代金支払方法、物品受渡しについて連絡します

伐採木の無償提供のご案内

戸沢小・中学校グラウンド整備工事に伴い伐採した伐採木について、資源の有効活用や処分コスト縮減を図るため、地域住民の皆様へ無償で提供いたします。

伐採木の種類等 桜（木口150mm以上） ※2mの定尺に切断してあります

提供場所 戸沢村南部地区地域振興センター（旧角川小・中学校敷地内）

申込方法 平成29年11月6日（月）～15日（水）までお申し込みください

申込用紙は、村ホームページからダウンロードまたは、戸沢村教育委員会にて準備しております

問合せ先 共育課学校教育係 ☎72-3242 FAX 72-2307

共育課からのお知らせ

最上地区男女共同参画地域講座を実施します！

今回、「イライラとの上手な付き合い方～大事な人との関係をよりよくするために」という講座を戸沢村で実施します。日常生活を送る中でイライラする感情があるかと思います。そんな自分の感情とうまく付き合うためのアドバイスを聞いてみませんか？皆さんの参加をお待ちしております。

日 時 平成29年11月26日（日）9：30～11：30

場 所 戸沢村中央公民館 3階大会議室

講 師 塩野 貴美（コーチング・メンタルヘルス研修Present Time代表）

定 員 50名程度 ※参加される方は事前に申し込みください

申込・問合せ先 戸沢村中央公民館 ☎72-2304



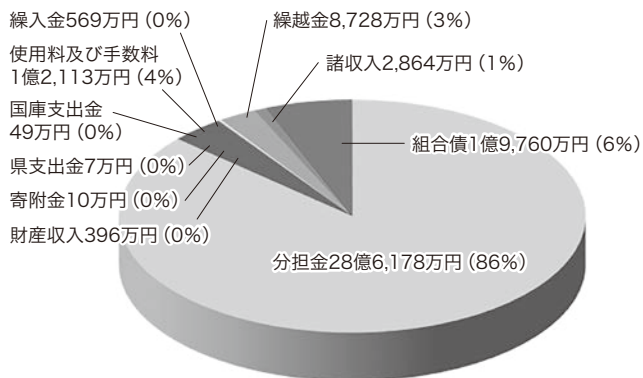
平成28年度最上広域市町村圏事務組合 決算概要

最上広域市町村圏事務組合議会10月定例会で、平成28年度決算が承認されました。一般会計歳入総額33億674万円（前年度比1億5,617万円の増）、同歳出総額31億5,541万円（前年度比9,212万円の増）となっています。

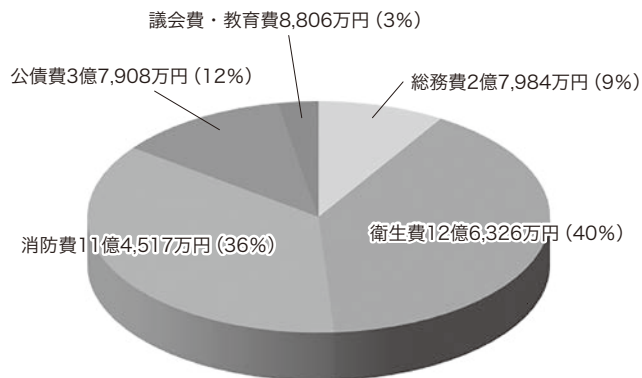
広域交流センター「ゆめりあ」の管理運営費は、前年度比1,118万円の減で、7,830万円です。インフォメーションホールに設置したマルチディスプレイでは、最上8市町村の様々な情報を発信しています。衛生費は、前年度比7,053万円増の12億6,326万円です。エコプラザもがみでは、2号炉燃焼用空気予熱器・排ガス減温用空気加熱器更新工事を行い、処理能力が大きく改善され、施設の延命化も図られました。リサイクルプラザもがみでは、最終処分場盛土堤等工事を行い、計画的な最終処分場の管理を行っています。また、ゴミの再資源化にも力を入れています。

最上広域市町村圏事務組合は、最上8市町村の皆さんの生活に密着した消防、ごみ・し尿処理などの業務を効率的に進めることを目的として設立された団体であり、今後の安全で安心して暮らせる地域づくりを目指し、事務事業の円滑な推進と経費の削減に努めていきます。

一般会計歳入 33億674万円

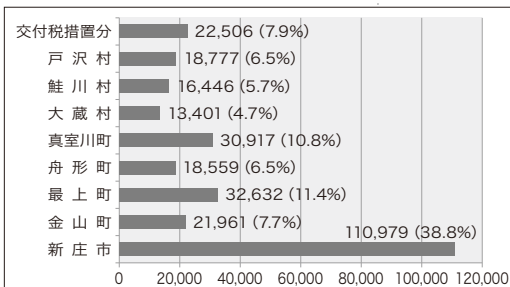


一般会計歳出 31億5,541万円



分担金の内訳

(単位：万円)



●一般会計の主な事業

(単位：万円)

区 分	28年度決算	対前年増減
広域交流センター「ゆめりあ」管理運営費	7,830	△ 1,118
エコプラザもがみ（ごみ焼却施設）管理運営費	75,348	△ 2,310
リサイクルプラザもがみ（資源リサイクル施設）管理運営費	20,660	686
もがみクリーンセンター（し尿処理施設）管理運営費	29,654	8,506
消防・救急業務運営費	114,518	20,188
教育研究センター管理運営費	8,697	△ 902
公債費（借入金返済）	37,908	△ 6,715

お知らせ版

～各種イベントや募集案内、
各課からの連絡～

伝言板コーナー

「山形県求職者総合支援センター
出張相談会」

○日時 11月10日(金) 13時～
○場所 ハローワーク新庄2階
○内容 求職者の生活等の悩み相談
○問合せ先 山形県求職者総合支
援センター
☎0800-800-7867

※予約不要です。

「最上川・赤川直轄改修着手
100周年記念シンポジウム」

○日時 11月10日(金) 13時～
○場所 酒田市民会館
○内容 基調講演やパネル展等
○問合せ先 酒田河川国道事務所
調査第一課
☎0234-27-3471

「歴史文化ゾーンを巡る講演会」

○日時 11月11日(土)
13時30分～
○場所 遊学館3階
○定員 100名(先着順)
○申込締切 11月9日(木)
○申込・問合せ先 山形県生涯学
習文化財団
☎023-625-6411

「山形県外国観光客接遇研修」

○日時 11月12・19・26日(日)
10時～(各回120分)
○場所 新庄市民プラザ
○参加費 無料
○定員 30名
○申込先 事前申込
(<https://goo.gl/8NSvZm>)

「過労死等防止対策シンポジウム」

○日時 11月14日(火)
13時30分～
○場所 遊学館 山形県生涯学習
センター
○定員 80名
○問合せ先 山形労働局労働基準
部
☎023-624-8222

「ゆめりあハンドメイド・マー
ケット」

○日時 11月18日(土) 10時～
○場所 ゆめりあ大廊下
○出店料 500円
○出店者 先着10店
○申込日時 11月1日(水)より
受付
○問合せ先 最上広域交流センタ
ー ゆめりあ
☎28-8888

「国際理解実践フォーラム2017」

○日時 11月18日(土) 10時～
○場所 霞城セントラル
○内容 参加型ワークショップ等
○参加料 無料
○申込締切 11月14日(火)
○問合せ先 公益財団法人山形県
国際交流協会
☎023-647-2560

「鶴岡高等養護学校 学校祭」

○日時 11月25日(土)
9時10分～
○場所 鶴岡高等養護学校
○内容 学年劇、職業科バザー等
○問合せ先 鶴岡高等養護学校
☎0235-22-0581

※事前申し込み不要です。

「生産管理基礎セミナー」

○日時 11月27日(月)、28日(火)
9時15分～
○場所 山形県立山形職業能力開
発専門校
○申込締切 11月13日(月)
○申込・問合せ先 山形県立山形
職業能力開発専門校
☎023-644-9227

「第2回地域議員協議会」

○日時 11月29日(水) 15時～
○場所 最上総合支庁講堂
○内容 地方選出議員による地域
の課題等の審議
○問合せ先 山形県議会事務局議
事調査課
☎023-630-2841

「初冬のプラネタリウム」

○日時 11月29日(水)～12月1
日(金) 18時30分～
○場所 最上広域市町村圏事務組
合教育研究センター
○申込日時 11月22日(水)より
受付
○申込・問合せ先 最上広域市町
村圏事務組合
☎32-1888

「第8回最上伝承野菜フェア」

○日時 11月8日(水)～1月8
日(月)
○場所 最上管内の飲食店や旅館、
産直施設等
○内容 最上伝承野菜を使用した
料理やお菓子等の販売
○問合せ先 最上総合支庁農業振
興課
☎29-1316

「無料法律相談」を開始しました

(一財)山形県交通安全協会の顧問弁護士が交通事故に関するだけでなく、色々な法律相談を交通安全協会の会員の皆様に無料で行います。(ただし、法律相談から調停や訴訟事件などに発展した場合の費用は相談者の負担となります)

最上地区交通安全協会事務局 ☎0233-23-4693

「国の教育ローン」のご案内

高校、大学等への入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。お子さま1人につき350万円以内を、固定金利(年1.81%(平成29年9月20日現在))で利用でき、在学期間内は利息のみのご返済とすることができます。

教育ローンコールセンター ☎0570-008656

健康カレンダー (11月)

日程	内容	場所	時間
1日	人間ドック	最上検診センター	7:00～
7日	母親教室・母子手帳交付	保健センター	13:30～
9日	健康相談・結果報告会	蔵岡公民館	9:30～
		上野公民館	13:30～
10日	3,4ヶ月児健診 平成29年7・8月生	保健センター	13:00～
	9,10ヶ月児健診 平成29年1・2月生		
15日	人間ドック	最上検診センター	7:00～
	健康相談・結果報告会	上松坂公民館	9:30～
		下松坂公民館	13:30～
22日	総合健診	保健センター	7:00～
29日	1歳児歯科健診 平成28年8～10月生	保健センター	13:00～
	2歳児歯科健診 平成27年8～10月生		
	フッ素塗布(無料) 平成27年11月 ～平成28年1月生 平成28年5～7月生		

ひとりで悩まず まず相談!

平成29年10月1日「山形県がん総合相談支援センター」を(公財)やまがた健康推進機構の県内5箇所の検診センターに『がん相談窓口』を開設しました。

○がん検診に関する情報

○病気や治療に関する情報

○仕事と治療の両立 など

どなたでもお気軽にご相談ください。

問合せ先

がん相談窓口 ☎0800-800-8230

交通事故の損害賠償問題で お困りの方

自動車事故の被害にあわれ、示談をめぐる損害賠償の問題でお困りの方へ、弁護士が「中立・公正」な立場で、当事者間の紛争解決のお手伝いをします。

交通事故紛争処理センター

☎022-263-7231



自衛官等募集

採用種目	募集資格	受付期間	試験日
自衛官候補生	18歳以上、27歳未満	11月11日～1月19日まで	平成30年1月28日(日)

編集者の
コラム Vol.67



一気に秋らしい気候になってきましたね。体調を崩してはいないでしょうか。

今月の戸沢村の大きなニュースといえば、なんといっても女性消防隊の全国操法大会準優勝ではないでしょうか。日頃から女性消防隊の皆さんが、一生懸命訓練に励んでいる姿を目にしていたので、準優勝と聞いた時にはなんだか私までうれしくなりました。戸沢村女性消防隊の皆さん、この度は本当におめでとございます。さて、今の時期はちょうど紅葉がきれいな時期になります。最上峡の紅葉を眺めながら、最上川舟下りを楽しんでみては、いかがでしょうか。



お誕生日おめでとう!!

満一歳児(10月生まれ)

村の将来を担う子どもたちの健やか成長をお祝いするとともに、これからも元気で育ってほしいとの願いを込めて、戸沢村の満一歳になる子どもさんをご紹介します。

今月は、10月に満一歳を迎えた子ども達です。(①ご両親の名前 ②地区名 ③ご両親からお子様へのメッセージ)

岸 ^{たけし}
武志くん



10月3日
生まれ

海藤 ^{そら}
空ちゃん



10月25日
生まれ

①岸 琢磨さん
佳奈子さん

②向名高

③優しい心と笑顔を忘れず、生涯幸せでありますように。

①海藤 潤さん
佳奈さん

②名高

③よく食べ、よく寝て、よく笑い、姉妹仲良く育ってね(^v^)-☆

村の人口と世帯
(9月末現在)

4,736人(+3人)〈男2,281人(+4人)、女2,455人(-1人)〉1,624世帯(+1世帯) ※()内の数値は、8月末との比較



表紙のことば

表紙は、戸沢村女性消防隊です。早朝や夕方などの空き時間に多くの訓練を重ね、掴み取った準優勝。女性消防隊のみなさん、本当におめでとうございます。

編集・発行

広報とざわNO.552

発行日 平成29年11月1日

編集・発行 戸沢村総務課
山形県最上郡戸沢村大字古口270

TEL 0233-72-2111

FAX 0233-72-2116

URL <http://www.vill.tozawa.yamagata.jp/>
(パソコン及び携帯共通)

E-mail: tozawa@vill.tozawa.yamagata.jp



URL



メルアド